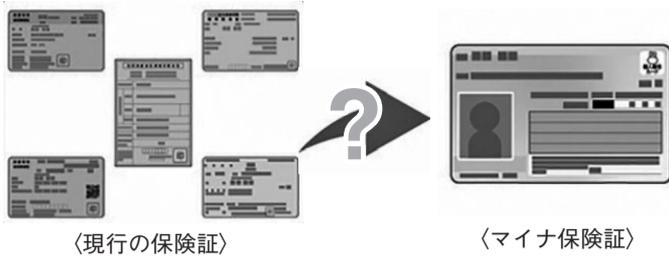


学習シリーズ

現行の保険証なくすな!

本部 社会活動部 中尾 忍

政府は12月から従来の保険証の新規発行をやめ、マイナ保険証に一本化するとしています。今年5〜7月の「利用促進



〈現行の保険証〉

〈マイナ保険証〉

集中取組み月間」には厚生労働省が台本まで作って、医療機関や薬局のスタッフによる声掛けとチラシ配布が推進され、マイナ保険証がなければ受診や処方できないとの誤解や不安が広がりました。

医療費の抑制にも

政府がマイナンバーカードの活用やデジタル化にこだわる背景には、日本経団連など財界からの要求があります。マイナンバーカードには医療のほか、税金や年金、公金を受け取る銀行口座など29項目の個人情報がつながられています。集められた膨大な個人情報、新商品開発やマーケティングに活用できる宝の山であり、儲けるための資源として狙われています。さらに、大量のデータを分析して医療を「標準化」「画一化」することで、医療費の抑制策に使

われる危険も指摘されています。

国民皆保険制度が崩壊

マイナ保険証に移行すると、国や保険者の保険証交付義務がなくなり、申請しなければ手元に届かなくなり、高齢者や障害者、認知症の方など、自力で申請が困難な人たちは保険証を持つことも困難になり、いつでも、どこでも、誰でも安心して医療を受けられる国民皆保険制度の崩壊につながりかねません。

誰のため、何のために

そもそもマイナンバーカードの取得は任意です。いのちや健康に関わる保険証を人質にして、マイナンバーカード取得を強制することは許されません。どんな政策も、誰のために何のために実施するのが重要で、マイナ保険証をめぐっては開発を受注した企業からの献金も明らかになりました。財界本位のデジタル化や経済成長ではなく、いのちとケアが大切にされる経済成長への転換が求められます。私たちのいのちを守る「現行の保険証」を残すために、署名を集めるなど一緒に声をあげましょう。

原水禁世界大会報告会

約50名が世界平和の願いを共有



8月21日、原水爆禁止2024世界大会の報告会を行ない、職員や友の会員約50名が集まりました。

「原爆投下の影響は終わっていない。絶対に戦争を起こしてはいけません。原爆が二度と使われないようにという願いを、私たちも下の世代に

健友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chikiki.com/fukushi>

流しぞうめんでお涼み会

藤が丘デイサービスセンター

「ネギと大葉が切れたよ」「みょうがは、どう切るの?」。利用者さんの薬味を切る包丁の音と会話がはずみます。薬味を切ったら、てんぶらの盛り付けを手伝ってもらい、さあ、準備はOK。



子どもボランティアさんの「流すよ」の大きな声を合図に、流しぞうめんの始まり、始

まり。皆さん、順番に流れてくるぞうめんをすくって召し上がります。最近食事量の減っていたIさんも、今日はうれしそうにぞうめんを何度もすくっています。

今年の夏は、猛暑日続きだったので、利用者さんと何か涼しいことがしたいと、流しぞうめんを企画しました。午後からは、魚釣りゲーム、射的も楽しみ、今日は一日いつもと違う活動ができ、皆さん大満足の様子です。



これからも、利用者さんと一緒に生活に刺激や楽しさが持てるイベントを計画していきたいと思えます。介護福祉士 三渡 美雪

社会福祉法人尾張健友福祉会

ケアハウスちあき/地域交流スペース デイサービスセンター・ちあき 藤が丘デイサービスセンター 介護保険サービスセンターちあき 岩倉小規模多機能ホーム・ちあき 岩倉デイサービスセンター・ちあき 特別養護老人ホーム・ちあき 特別養護老人ホーム・ちあき 第二 萩原小規模多機能ホームちあき 萩原グループホームちあき 電話番号・FAX番号は5面をご覧ください。

11月10日(日)は 家族健康まつり

今年は楽しく学ぶ講座もあります。



健康講座は3部仕立て、会場は市民健康教室です。

- ①オーラルフレイル ~身体の健康はお口の健康から~ 千秋病院歯科医師 川瀬ゆかさん (10:30~11:00)
②薬とサプリメント 千秋病院薬剤師 富永裕子さん (11:30~12:00)
③この時期、子どもがかかりやすい病気 千秋病院小児科医師 矢嶋たえ子さん (13:00~13:30)

伝えていきたい」との報告に、改めて平和への思いを共有する報告会となりました。



世界大会の会場で

第6回認知症介護者個別相談会

「介護しているアナタ! お話し聴きます」

~認知症・介護支援の達人!ここに参上!~

日時 10月31日(木)13時30分~15時45分 会場 コミュニティプラザ友 (一宮市泉2-1-1)

対象者 認知症状の介護でお悩みの方

★事前申込制★必切10月29日(火)17時まで

お申込みは、一宮地域包括支援センターまちなか 電話 0586-85-8672